

平成22年4月12日

地域貢献活動支援報告書

三重大学地域社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部
氏 名 魚住明生

| | |
|-------|--|
| 活動テーマ | Jr.ロボコン in 三重 |
| 実施期間 | 平成21年 8月18日 ~ 平成21年 8月21日 平成21年11月15日 |
| 活動内容 | <p>①具体的な活動実施内容</p> <p>三重県内各地から参加した中学生が、抽選でチームを編成し、3泊4日寝食を共にして、ロボット製作に生き生きと取り組んだ。これに関わる指導は、県内中学校教員と三重大学教育学部技術科の学生が生徒と同じく寝食を共にして担当した。4日間の製作で、ほとんどのチームが様々に工夫されたロボットを完成させることができた。</p> <p>成果大会では、多くの保護者や一般参観者が集まり、盛大に大会が行われた。多くの参観者から中学生のロボットに感心の声が寄せられた。</p> <p>②地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>終了後のアンケート[資料1, 2]において、参加生徒並びに保護者のほぼ全員が本事業に満足していることが示された。このことから、本事業が目的とした青少年の科学技術への興味の喚起は十分に達成できたと考える。事業終了後、各方面から来年度の開催を望む声が多く寄せられており、さらに地域への貢献が期待できる。</p> <p>③共同実施者との連携状況</p> <p>共同実施者とは、メーリングリストにより、密接に連絡を取りながら分担された業務を行った。具体的には、三重県、津市、四日市市においては報道機関等への広報を、津市においてはさらに合宿に関わる関係機</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>関との調整を行った。これらの連携により、企画、運営を通してスムーズに事業を行うことができた。</p> <p>④大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>指導は、前年度と同様に、三重大学教員・学生、並びに三重県内中学校技術科の教員が連携して行った。このことにより、参加した学生は、間近に現職教員の指導を見ることができると共に、生徒への指導の在り方について直接助言を得ることができた。このことは、将来教職を志す学生にとって大きな財産になったと考えられる。</p> <p>⑤イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）</p> <p>：詳細、<u>実施報告書</u>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボット製作キャンプ <p>日 程：2009年8月18日(火)～21日(金)：3泊4日</p> <p>会 場：津市青少年野外活動センター</p> <p>参加人数：生徒48名、学生19名、教員9名</p> ・成果発表会 <p>日 時：2009年8月21日(金)</p> <p>会 場：津南イオンショッピングセンター・サンバレー</p> <p>参加人数：生徒48名、参観者約100名</p> ・成果発表展示 <p>日 時：2009年11月14日(土)</p> <p>会 場：高田中・高等学校体育館（中学校技術・家庭科創造アイディアロボットコンテスト三重県大会でのブース展示）</p> <p>参加者：生徒約100名、学生13名、教員25名</p> |
| 継続希望の有無 | 有 |